

安全報告書



A1 仕業 (平成 25 年 3 月 1 日改正)
上り 8016 列車 最高速度 65 km/h

車載器	A-003	接続	436 D	14:34
			435 D	14:27
3 15	高 森			13:33
3 45	見 晴 台	3 6 15		3 6 45
2	白川水源	4 0 30		4 1
6 30	阿蘇白川	4 3		4 3 30
4	中 松	5 0		5 2
		5 6		5 6 30
		14:00 30		14:01
		0 4 30		0 5
		7 30		0 8
				(14:25)

2 0 1 5 年 度 版

南阿蘇鉄道株式会社

1. 利用者はじめ地域の皆様へ

いつも南阿蘇鉄道をご利用頂きまして、誠にありがとうございます。

また、平素は弊社の事業運営に対しまして、ご理解とご支援をいただき深く感謝申し上げます。

当社におきましては、鉄道事業の根幹は輸送の安全確保であり、経営理念の第一に「安全の確保」を掲げ、2014年度においても「安全・安定輸送の確保」に取り組んできました。なかでも阿蘇中岳第一火口が噴火し線路への降灰が列車の運行管理に影響を及ぼすため、社員総力で懸命な対応により安全を確保することができました。

今後も鉄道事業者として各種法令を遵守し、鉄道設備等の保守点検に取り組むことで引き続き安心してご利用いただける鉄道を目指して参りますので、今後ともご支援をよろしくお願い申し上げます。

本報告書は、2014年度に当社が行ってきた安全性向上に向けた取り組みなど広くご理解いただくために公表するものです。

南阿蘇鉄道株式会社
代表取締役社長 草村 大成

2. 輸送の安全確保に関する基本的な考え方

(1) 安全基本方針

当社では、安全輸送の確保を第一とし、基本的な方針は次のように掲げ、社長以下、全社員に周知徹底を図っています。

- ① 一致協力して輸送の安全確保に努めます。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況の理解と確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- ④ 事故・災害が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- ⑤ 情報は漏れなく敏速、正確に伝え、透明性を確保します。
- ⑥ 常に問題意識を持ち、必要な変革に継続的かつ果敢に挑戦します。

(2) 安全確保のための重点目標

区 分	項 目	内 容
定量的な目標	列車事故（衝突・脱線・火災）	有責事故を発生させない。
	乗客の死傷事故	乗客の死傷事故を発生させない。
	踏切障害事故	踏切故障に伴う事故を発生させない。
定性的な目標	基本動作の確実な実施と事故防止意欲の向上	

(3) 目標に対する実績

年 度	2010	2011	2012	2013	2014
列車事故（衝突・脱線・火災）	0	0	0	0	0
乗客の死傷事故	0	0	0	0	0
踏切障害事故	0	0	0	0	0

3. 輸送の安全の実態

(1) 鉄道運転事故

2014年度の鉄道運転事故の発生はありませんでした。過去5年間の鉄道運転事故の発生件数と死傷者は次のとおりです。

年 度	2010	2011	2012	2013	2014
事 故 件 数	0	0	0	0	0
死 傷 者	0	0	0	0	0
うち死亡者	0	0	0	0	0

(2) 災害（地震・暴風雨、豪雪などによる鉄道施設への被害）

2014年度は自然災害の発生はありませんでした。

(3) 輸送障害（30分以上の遅延や運休）

2014年度は台風と大雨の影響で列車が運休となり、お客様には大変ご迷惑をおかけしました。内容は次のとおりです。

- ① 6月2日、長陽駅と立野駅間を運行中の22列車が、第一白川橋梁の風速計による特殊発光信号機の停止現示により前途運休した。この強風の影響で3本を運休とした。
- ② 7月10日、台風8号の接近に伴い第2列車～第18列車までの18本を運休とした。
- ③ 10月13日、台風19号の接近に伴い第4列車～第17列車までの18本を運休となった。

(4) インシデント（事故の兆候）

2014年度の九州運輸局へのインシデント報告はありませんでした。

(5) 行政指導等

2014年度における行政指導はありませんでした。

4. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 安全のための施策

安全の維持向上のために、鉄道施設や車両の保守点検整備を計画的に実施しています。

2014年度においては、軌道検測車での検測結果により軌道整備工事を実施し、また曲線部（カーブ）に部分的にPC枕木の投入を行いました。

車両面では、MT2002Aの全般検査、客車トラ70001、トラ70002の重要部検査を実施しました。

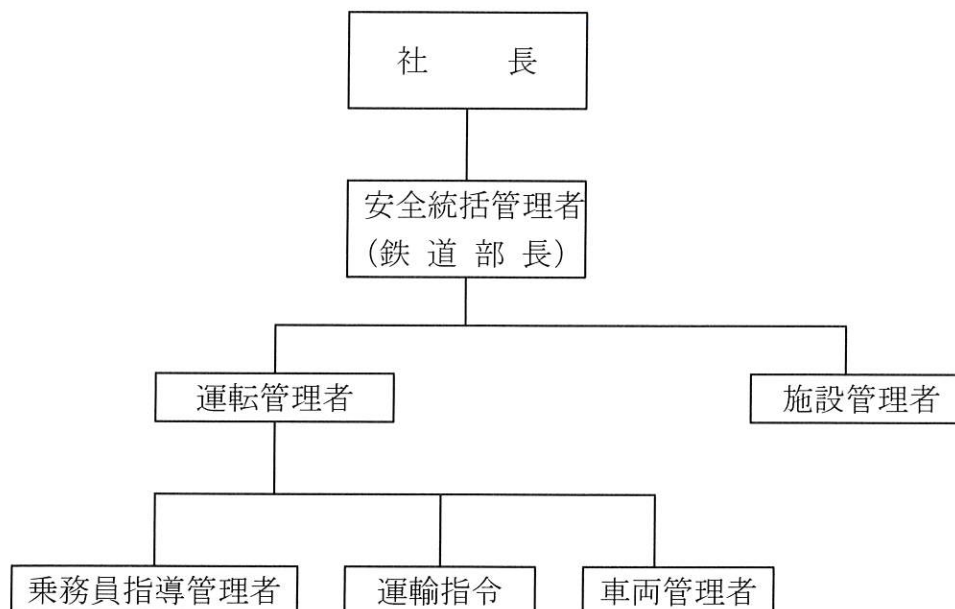
(2) 緊急時対応訓練

- ① 毎年、脱線復旧訓練を実施するなかで、緊急時および異常時の対応を訓練しています。
- ② 定期のミーティングにより、全社員に危機管理意識の高揚を行っています。
- ③ 信号および踏切警報遮断機の故障及び異常時の復旧処置訓練。
- ④ 火山噴火時の降灰対応訓練

5. 当社の安全管理体制

(1) 安全管理組織

当社では社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者を明確にした上で安全確保のため役割を担っております。



(2) 安全管理者の役割

役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運 転 管 理 者	運転に関する事項を統括する。
施 設 管 理 者	安全統括管理者指揮の下、施設に関する事項を統括する。
車 両 管 理 者	安全統括管理者指揮の下、車両に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	安全統括管理者指揮の下、運転士の資質保持に関する事項を管理する。

6. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社への安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

南阿蘇鉄道株式会社	
TEL 0967-62-0058	FAX 0967-62-0433
E-mail	nantetsu@athena.ocn.ne.jp
■ 月～金 9:00～17:00(祝休日を除く)	